

マリンビジョンNewsは、サロマ湖地域の1市2町で構成するマリンビジョン協議会が、自然環境と共生した明るい未来を創造する漁村づくりに向けた活動を紹介する広報紙です。

◆ カキまつり大好評

11月から12月にかけて各漁協主催による「カキまつり」が開催され、メインの牡蠣をはじめサロマ湖・オホーツク海の新鮮な海産物や加工品などを買い求める多くの来場者でにぎわいました。会場にはその場で焼いて食べられるコーナーも設けられ来場者は一日新鮮な味覚を楽しみました。



11月21日(土)
佐呂間町道の駅サロマ湖



11月22日(日)
湧別町湧別漁協



12月13日(日)
常呂町多目的センター

また、11月8日には北見市オホーツクビアファクトリーで3漁協青年部共催による「秋のサロマ湖まつり」が開催され、各漁協青年部員自らが「カキの酒蒸し」「焼きガキ」「焼きホタテ」を調理して販売しました。このまつりも9年目を数え、北見市民にもなじみのイベントとなり多くの市民や周辺の町からも大勢が来場しカキ・ホタテなどを堪能いたしました。



味覚を楽しむ来場者



牡蠣を調理する常呂漁協青年部のみなさん

◆ サロマ湖漁港第2湖口橋完成



サロマ湖漁港の第2湖口航路に架かる新橋梁が平成27年9月に完成しました。

橋梁は、網走国定公園のワッカ原生花園内に位置し、環境（植生の保護）と景観に配慮した構造（フィンバック）が採用されています。

漁業資源が豊富なサロマ湖とオホーツク海をつなぐ第2湖口の漁船の安全航行を確保するとともにサロマ湖に魅力的なシルエットを映しています。

◆ 湧別漁協外海ホタテ漁業用作業保管施設完成

湧別漁協が平成26年度から継続して実施している産地水産業強化支援事業「漁業用作業保管施設」が完成し、12月1日に竣工式が行われました。

この施設はホタテ漁で使用する「桁網」の組立や修繕、解体、保管を行うため12箇所の保管庫と漁場境界用資材保管庫、資源調査用資材保管庫、出漁を待つ乗組員の待機室を設けた施設となっております。

旧施設は漁港から離れた場所にある上に手狭で作業効率が悪く、同漁協の各種施設の空きスペースや屋外も活用して作業が行われておりました。

新施設は、湧別漁港内にあるため、旧施設と比べて漁具を修繕した際の運搬時間の削減や広いスペースでの作業効率の向上により、操業時間の確保が図られます。

待望の新施設の完成により外海ホタテの安定生産に大きく寄与するものと期待されます。

【施設概要】

- ・施設規模：軽量鉄骨造 A棟：平屋建 738㎡ B棟：一部2階建 929㎡
- ・総事業費：3.9億円（うち国費1.8億円、町補助0.8億円、漁協1.3億円）



発行 サロマ湖地域マリンビジョン協議会

2015.12.28

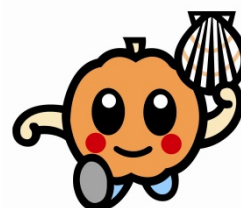
編集 サロマ湖地域マリンビジョン協議会事務局広報担当

〒093-0502 佐呂間町永代町3番地の1

佐呂間町経済課水産係

T e l 01587-2-1200 ・ F a x 01587-2-1131

M a i l kankou@town.saroma.hokkaido.jp



ももちゃん